

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込処理によっている。

3. 会計方針の変更

特にない。

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
受取寄附金	11,546,613	0	11,546,613	0
準備積立金	9,000,000	0	9,000,000	0
建物	37,907,219	0	1,921,357	35,985,862
建物付属設備	8,311,678	0	706,086	7,605,592
構築物	2,581,386	0	268,142	2,313,244
工具器具備品	974,886	746,550	359,140	1,362,296
一括償却資産	107,806	0	53,902	53,904
ソフトウェア	2,261,968	0	1,577,481	684,487
敷金	105,000	0	0	105,000
小 計	72,796,556	746,550	25,432,721	48,110,385
合 計	72,796,556	746,550	25,432,721	48,110,385

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
受取寄附金			0	0
準備積立金			0	0
建物	35,985,862	(35,985,862)	0	0
建物付属設備	7,605,592	(7,605,592)	0	0
構築物	2,313,244	(2,313,244)	0	0
工具器具備品	1,362,296	(1,362,296)	0	0
一括償却資産	53,904	(53,904)	0	0
ソフトウェア	684,487	(684,487)	0	0
敷金	105,000	(105,000)	0	0
小 計	48,110,385	(48,110,385)	0	0
合 計	48,110,385	(48,110,385)	0	0

6. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
建物	45,000,733	9,014,871	35,985,862
建物付属設備	10,523,989	2,918,397	7,605,592
構築物	3,751,328	1,438,084	2,313,244
工具器具備品	2,437,278	1,074,982	1,362,296
一括償却資産	161,708	107,804	53,904
ソフトウェア	3,788,972	3,104,485	684,487
合 計	65,664,008	14,763,038	48,005,385

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
課題を抱える妊産婦支援PJ事業自立準備支援事業給付金	兵庫県	0	685,240	685,240	0	受取補助金・助成金
グラント	G&M財団	0	3,000,000	3,000,000	0	受取補助金・助成金
「特定求職者雇用開発助成金」	兵庫労働局		600,000	600,000	0	受取補助金・助成金
合 計		0	4,285,240	4,285,240	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	4,026,249
固定資産除却損計上による振替額	859,859
目的達成による指定解除額	10,302,577
合 計	15,188,685

9. 重要な後発事象

重要な後発事象の該当事項はない。